

日常的に起きている

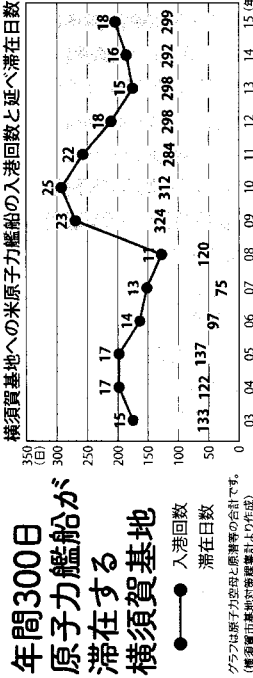
原子力艦船の放射能事故等

- 1971 ●原潜ワグワグ・ワグワグが一次冷却水の圧力低下、メルトダウンの危険。
- 1971 ●原潜スヌーク、故障で船体を傾けながら横須賀に入港。放射能汚染の疑い。
- 1975 ●潜水艦プロセカス、カム・ボウ室内に、高放射能の一次冷却水を大量に放出、付近の海を汚染。
- 1976 ●原潜から補給船に移していた冷却水500トンが川に流出。
- 1977 ●米ビュージェット造船所の2週間にわたる放射能汚染事故。3人の労働者が被曝。
- 1977 ●原潜ワグワグ、高放射能の一次冷却水を大量にビュージェット造船所内に流出。
- 1979 ●原子力空母ミッツ、原子炉が一次冷却水漏れ。
- 1980 ●原子力巡洋艦ロングビーチ、沖繩で高放射能汚染。
- 1980 ●原潜ホークビル、ビュージェット造船所で冷却水漏れ。5人が被曝。2人が内部被曝。
- 1982 ●原潜サトウ、ビュージェット造船所で冷却水漏れ。一人が汚染。
- 82以前 ●原潜フォーン、スチュエーベン、原子炉が緊急停止。数時間漂流。
- 1983 ●原潜サーゴ、ハワイで冷却水排出時に放射能汚染。
- 1985 ●原子力空母カール・ビンソン等3隻の乗組員に原子炉の安全運転テストを行ったが不合格。
- 1988 ●原子力空母アイゼンハワー、商船と衝突事故。
- 1989 ●原子力空母エイブラハム・リンカーン、330ガロンの低放射能冷却水を川に放出。
- 1989 ●原潜フィンバック乗組員が低レベルの放射性物質を含む機械を川に投棄。
- 1990 ●原子力空母ミッツの氷兵、不適切な訓練によって、放射能安全調査の定期点検でまかしがあとと内部発表。
- 1991 ●原子力巡洋艦ロングビーチ、ハワイの故障のため、サンディエゴ湾内に一次冷却水が漏れる。他にも4つの港で放射能漏れ事故。乗組員の2名が白血病。
- 1992 ●原子力空母エンタープライズ、造船所で放射能を吸った冷却水が漏れ、作業員9名と4隻が汚染。
- 1994 ●原子力空母エンタープライズ、ドライドックで修理中に原子炉室で火災。放射能物質が漏れた。
- 1995 ●原子力巡洋艦カリフォルニア、放射能を吸った冷却水が漏れ、3名の氷兵が汚染。
- 1995 ●原潜ソルトレイトン、船酔いした乗組員が原子炉を当直監視し、司令官解任。
- 1996 ●ビュージェット造船所で、原子力艦アークサスの放射性蒸気漏れ。15時間事故を通報せず。
- 1996 ●原潜サンファン、グロートン基地で、氷兵1名が原子炉への被曝行為の疑い。免職。
- 1997 ●原潜ボーツマス、基地での作業中に、2人が被曝。
- 1998 ●アイダホの海軍原子炉実験施設から、高レベルの放射能が検出。周辺住民200名が避難。
- 1999 ●原子力空母ステニス、母港のサンディエゴ湾内で被曝し、原子炉が基とも緊急停止。
- 2000 ●原潜オリビン、ハワイの造船所で修理中に放射能冷却水が漏れ、3名の氷兵が被曝。
- 2002 ●原潜ヘレナ、黄海で、小型船と接触事故。
- 2004 ●原潜ラホヤ、在米海軍基地で、電気ケーブルが燃焼。
- 2006 ●原潜ヒューストンで2年間放射能漏れ。この間横須賀、佐世保、沖縄に寄港。
- 2006 ●横須賀基地の原潜ボルトポイント海軍の海水から、コリト58、60が検出される。
- 2007 ●原潜ハンブロン、原子炉の安全点検を月以上行わず、隠蔽のため、点検記録も改ざり。
- 2008 ●原子力空母G・ワグワグ、補助ボイラー室から出火。8時間燃え続ける。
- 2012 ●原潜マイアミ、ボーツマス海軍工廠で火災。7名が負傷。

軍港に浮かんだ4つの原子炉



リムピース艦隊



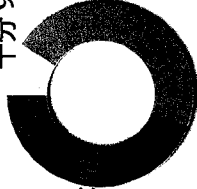
年間300日 原子力艦船が 滞在する 横須賀基地

これが市民の答。一万人アンケート結果。

●2015年10月1日、ジョー・ワグワグに代わって、2隻目の原子力空母ロナルドレーガンが横須賀基地に配備されました。これに先立ち「住民投票を成功させる会」では、「原子力空母交代の是非を問う一万人市民アンケート」を実施。アンケートの回答は12,059通。4,237件の記入意見も頂くことができました。

■原子力空母の安全対策をどう思いますか。

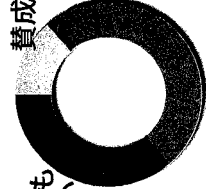
十分 9.3%



わからな
44.1%
不十分
46.0%

■横須賀に原子力空母が配備されていることは。

賛成 13.7%



どちらとも
いえない
36.0%
反対
49.7%

- 原子力空母が配備されたのは2008年9月。それから7年を経過したアンケート調査時点でも、多くの市民は不安を感じ、配備に否定的であることがわかりました。安全対策に関しても、「十分」と答えた市民はわずか9.3%。半数近くが「不十分」と答えました。
- 記入意見の41%、1,884件が「原子力が不安」でした。

レーガン被曝問題

●2015年に横須賀に配備された原子力空母レーガンは、2011年にトモダチ作戦に参加して福島原発事故の風下で大量の放射能を浴びました。400人以上の乗組員が放射能被曝による深刻な病気となつて7名が死亡し、米国裁判所で東電に損害賠償裁判をしています。米海軍は、横須賀市民に、被曝の実態と現在の放射能レベル等を明らかにすべきです。



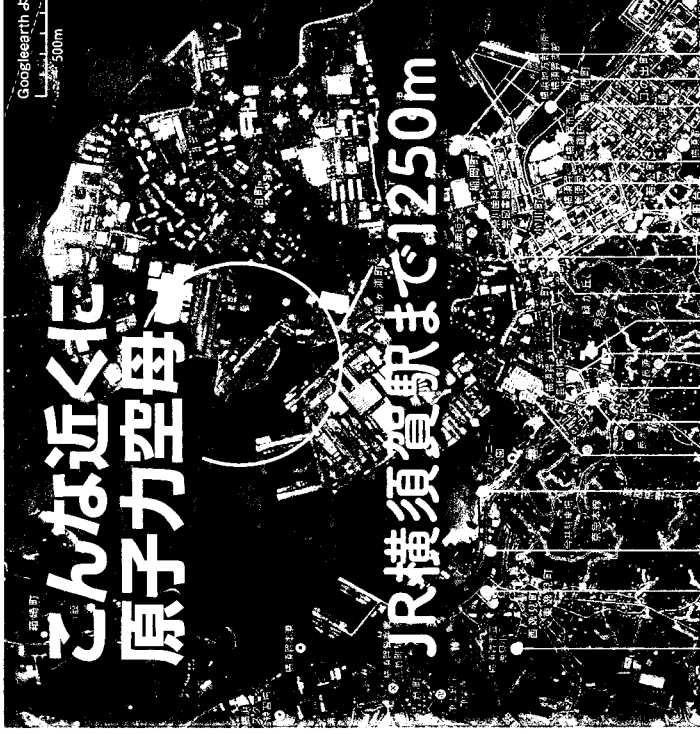
飛行甲板の除染作業 (写真は navy.milより)

みんなで考えよう。この町の安全

原子力空母母港化の是非を問う住民投票を成功させる会

〒238-0008 横須賀市大瀬町1-26 清水ビル3階
横須賀市民法律事務所
電話:046-827-2713 FAX:046-827-2731

原子力空母は 本当に安全か?



こんなに近くに
原子力空母

JR横須賀駅まで1250m

- 三立公園
- 地裁横須賀支部
- 常葉中学校
- 横須賀共済病院
- 横須賀小学校
- 横須賀市役所
- 京急横須賀中央駅
- 横須賀郵便局
- 神奈川県立大学
- 大瀬町商店街
- 緑が丘高校
- 横須賀芸術劇場
- 汐入小学校
- 京急汐入駅
- シヨバーステア
- ヴェルニ公園
- JR横須賀駅
- ヴェルニテ
- 逸見小学校

福島原発と同規模の
原子炉2基を積み
みんなで考えよう
原子力空母のこと

原子力空母 ロナルド・レーガン

危険な 原子炉緊急停止、 出力再上昇テスト

原子力空母では、原発では行われな
い原子炉の緊急停止や、直後の再起
動、急速な出力上昇等の危険なテス
トや、放射性液体、気体の放出を日本
近海で行っていることが、入手した
「航海日誌」で明らかになりました。

死25年分の 灰

原発の燃料交換は1年に1
回。溜まる死の灰は最大1年
分です。原子力空母の燃料交
換は25年に1回。溜まる死の
灰は最大25年分です。

高濃度の 燃料棒

原子力発電所の核燃料のウ
ラン235の濃縮度は3〜
5%。これに対して、原子力
空母の核燃料ウラン235
の濃縮度は約95%で、原爆
並の高さです。

3.11 原子力空母は

東日本大地震当日、原子力空母「ジョージ・
ワシントン」は横須賀基地に停泊してしま
した。星条旗新聞は「水位は6フット
(1.83m)下がり、揺れは非常に強くて
船を埠頭岸壁から離すほどだった」と乗
組員の証言を伝えています。大規模地震
が基地を直撃すれば、原子力空母の原子
炉も決して安全ではありません。

これからも いっしょに 喜らしますか 原子力空母と

安全審査 なしで配備

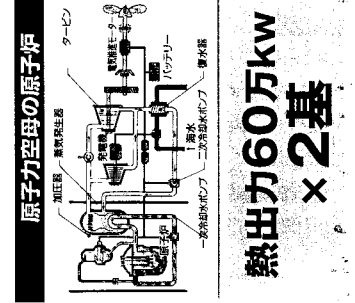
原発は日本政府の厳しい安
全審査を受けています。それ
でも事故は起きました。原子
力空母は、その安全審査すら
受けていない、まったくの
ノーチェック状態です。

爆弾や ジェット燃料も

原発周辺には、爆発物貯蔵庫
や燃料タンクを作ることば
できません。しかし原子力空
母は、艦内の至近距離に、大
量の爆弾やジェット燃料を
積んでいます。

原発の原子炉と 米海軍の原子炉は兄弟

原子力空母は2基の原子炉を積んでいます。
原子炉に核燃料を充填し、核反応区になる熱
で作った蒸気タービンを回して航行します。
原子力発電用の加压水型炉が福島第一原発
は沸騰水型は、海軍の原子炉が原則です。両者
の原理は同じものつまり、原子力発電の原子炉
と海軍原子炉は「兄弟」の関係です。



熱出力60万kw
×2基

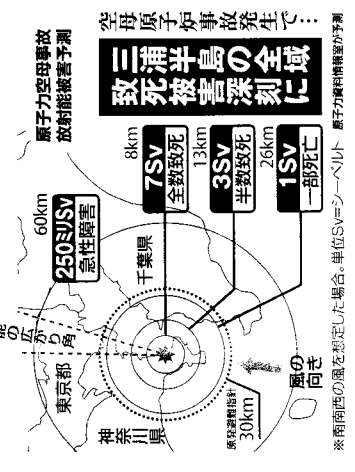
原子力空母が 地震・津波に襲われたら

大規模地震で想定される事故

- 津波で乗り上げ、海水の取水不能
- 冷却施設の電源喪失
- 艦内の非常用施設の機能喪失

水素爆発、メルトダウン・水蒸気爆発
による格納容器等の破壊
艦外への放射性物質の放出

格納容器内で原子炉が稼働中ないし停止後の想定です。
原子炉停止後も、炉心部の冷却が必要で、



住民の安全は二の次に。
変わらない原子力空母の
事故対策範囲。

放射線量	避難区域	居住地域
毎時 5 マイクロシーベルト	5キロ圏内	30キロ圏内
毎時 5 マイクロシーベルト	1キロ以内	3キロ圏内 (屋内避難)

原発 災害指針 (2013年)
内閣府 検証結果 (2016年)

福島原発事故を受けて政府は、原発につい
ては、5キロ以内を事前避難区域、30キロ以内を防
災重点区域に拡大しました。
ところが原子力空母では、2004年に作ら
れた防災マニュアルで1キロ以内避難、3キロ以
内で屋内避難、それ以外は殆ど対策なしとされ
2016年のマニュアル検証作業でも、その範囲
はそのままとなってしまう。空母は、
皆さんは、原発とあまりにかけ離れた「原子
力空母の事故対策は5キロ以内で十分である」と
いう政府の見解を信じられますか？